

# 一部事務組合議会報告

(令和4年第1回多摩市議会定例会)

南多摩斎場組合議会

多摩ニュータウン環境組合議会

東京都三市収益事業組合議会

東京たま広域資源循環組合議会

# 南多摩斎場組合議会：報告

小林憲一

## 令和4年（2022年）第1回定例会の報告

【開催日時】2022年2月2日（水）午後2時～

【開催場所】南多摩斎場組合・会議室

《出席議員》

- ・八王子市議会選出…渡口禎、鈴木基司
- ・町田市議会選出…佐々木智子、藤田学
- ・多摩市議会選出…小林憲一、三階道雄
- ・日野市議会選出…島谷広則、大塚智和
- ・稲城市議会選出…角田政信、坂田たけふみ

【議事日程】

### ●日程第1 会議録署名議員の指名

藤田学議員、小林憲一議員とする

### ●日程第2 会期の決定

2月2日、1日とする

### ●日程第3 諸報告

事務局長からの報告のあと、石阪丈一管理者（町田市長）からあいさつ。

### ●日程第4 報告第1号「南多摩斎場組合一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて」

事務局長から、専決処分とした理由について「改正の基準日である2021年12月1日以前に改正条例を施行する必要がある」旨の説明がありました。

こののち、1名の議員から「当組合の一般職員に関連する人事・給与等は、管理市の町田市のそれに準拠することになっているが、今回の改正は、町田市での職員団体との交渉・合意があったことをふまえてのものか？」との質疑がありました。

事務局長から「そのように推察するが、申し合わせ事項の『一般職に関連する人事・給与等は管理市に準拠する』に基づいて条例改正する」旨の答弁がありました。

こののち、意見・討論なく、全員「異議なし」で、原案のとおり、「承認」と決しました。

### ●日程第5 第1号議案「令和3年度（2021年度）南多摩斎場組合会計補正予算（第1号）」

事務局長からの議案説明ののち、1名の議員から「斎場費のうち需用費のなかの『燃料費』の減額について、この間、原油高のもとでかなり高騰したのではないかと思うが、それでも減額になった理由について、また『修繕料』の減額理由について説明を」との質疑がありました。

事務局長から「『燃料費』については、たしかに原油高の影響はあるが、かろうじて予算単価を下回り、また予定使用料も下回ったので減額となった。『修繕料』については、主に、自動ドア部品更新、照明LED化等の費用が想定より安価で済んだことなどによる」旨の答弁がありました。

こののち、意見・討論なく、全員「異議なし」で、原案のとおり、「可決」と決しました。

#### ●日程第6 第2号議案「令和4年度（2022年度）南多摩斎場組合会計予算」

事務局長からの議案説明ののち、1名の議員から「総務費のなかで、①再任用職員退職にあたっての不補充措置がおこなわれるが、不補充による業務への支障はないのか？ ②委託料の『南多摩斎場施設耐震診断業務委託』に関わって施設の耐震診断結果による今後の施設改修の見通しは？ また衛生費のなかで、『総合管理業務委託』の『長期継続契約』について入札状況とその結果について説明を」との質疑がありました。

事務局長から「今回、退職するのは火葬業務に従事する再任用職員だが、もともと委託契約の対象としている業務を、再任用職員が、委託者雇用の職員とともにおこなうことは不適切な状況だったので、今回、補充はせず、全面的に委託業務とするもので、その点で業務への支障はない。施設改修については、耐震診断の結果を受けて検討するが、今後は、火葬件数増が見込まれるため火葬炉12基の維持を前提として検討することになる。『総合管理業務委託』は、今回、『警備業務・待合室接待業務・清掃業務』等を統一かつ円滑な遂行を目的として1つの業務に統合したもので、入札は6者が参加し、現受託者が落札した」旨の答弁がありました。

こののち、意見・討論なく、全員で「異議なし」で、原案のとおり「可決」と決しました。

#### ●日程第7 行政報告「南多摩斎場ダイオキシン類等調査結果報告について」

事務局長から説明がありました。このなかでは、ダイオキシン類発生の原因として棺に副葬されるプラスチック類等に由来すると考えられるので、引き続き、注意喚起をしていきたい旨の説明がありました。

以上

令和4年2月22日  
山崎ゆうじ

開催日時:令和4年2月9日(水)午後2時～

開催場所:多摩ニュータウン環境組合 多摩清掃工場管理等3階 301会議室

議事日程第1 議席の指定

議事日程第2 会期の決定

議事日程第3 会議録署名議員の指名

議事日程第4 議長報告

議事日程第5 管理者報告

①多摩清掃工場の運営状況

・ごみの搬入量

本年度12月末までの搬入量は前年同期に比べ、可燃ごみ 230トン減少

不燃ごみ 110トン減少、粗大ごみ 25トン減少

応援処理として八王子市より可燃ごみ 755トン搬入

東京都からクリーンセンター多摩川の定期修繕に伴う応援要請があり2月14日より3月2日まで最大 5,300kg で受け入れ予定

・環境測定結果

ダイオキシン類濃度、放射能濃度いずれも自主規制運用値を下回る

②リサイクルセンターの運営状況

・令和4年度12月末までの来館者数 10,677人

・粗大ごみの再利用品 4,360点

③工場周辺地域との係り

・唐木田クリーンアップ作戦 2021 を実施し、92名の参加、51kgのごみを回収

④電力の地産地消

・清掃工場が発電する電気を多摩市の公共施設で使用し、電力の地産地消への取り組みを令和4年度より開始する

⑤災害時の施設使用

- ・大規模災害時に他県から派遣される救出救助機関等の活動拠点として使用する協定の締結を進める

議事日程第6 第1号議案 多摩ニュータウン環境組合職員の給与に関する条例の一部を改正する条例を専決処分したことについて

質疑、討論なく、挙手全員で可決と決しました。

議事日程第7 第2号議案 令和3年度多摩ニュータウン環境組合一般会計補正予算(第2号)

質疑、討論なく、挙手全員で可決と決しました。

議事日程第8 第3号議案 令和4年度多摩ニュータウン環境組合一般会計予算1名の議員より2点の質疑あり。

①町田市支援ごみ処理について、受け入れの日量、運搬車にして何台分か、受け入れ単価、受け入れ予定年数について

②売電の地産地消への取り組みについて、今回の送電方式を取り入れた経緯、メリット、売電価格の見込み、プロポーザル審査結果について、多摩市とだけの契約となることに対し残り2市との調整について

これに対し、

①1日当たりの見込みは平均で10tコンテナ車が6台、水曜日のみ追加で17台。

受け入れ単価はトン当たり35,000円、期間は令和4年度から令和7年度まで

②多摩市気候非常事態宣言をした多摩市から相談を受けたことで始まり、小売電気業者へのヒアリング、八王子・町田市両市と相談の上、締結に至った。売電価格は毎年下落しているが多摩市に売電する事で下落を緩和する事ができる。プロポーザル審査結果は価格のみならず地産地消の実現にふさわしい選定をおこなった。

と答弁あり。

この他質疑、討論なく、挙手全員で可決と決しました。

議事日程第9 第4号議案 多摩ニュータウン環境組合管理者等の損害賠償責任の一部の免責に関する条例の制定について

質疑、討論なく、挙手全員で可決と決しました。

令和4年3月1日

## 東京都三市収益事業組合議会報告

いいじま 文彦

(1) 行政視察研修 令和4年1月17日(月)午後1時から BOATRACE 六本木

研修内容 ①SIX WAKE ROPPNGI (ボートレースのPR拠点) 施設見学

(2) 令和3年第2回定例会に先立つ代表者会議

令和4年1月31日(月)午前11時から 稲城市地域振興プラザ2階会議室

協議事項 ①全員協議会について ②令和4年第1回定例会議案及び議事日程について

(3) 全員協議会 令和4年2月7日(月)午前10時から 東京自治会館2階会議室

報告事項 ①六市組合と施設会社との収益保証金の増額交渉の経過について

(4) 令和4年第1回定例会 令和4年2月7日(月)午前10時半から 場所は同上

議長報告 ①例月出納検査の結果について 等

管理者報告 ①江戸川競走場の売上 ②東京都三市収益事業組合の売上について 等

第1号議案 令和4年度東京都三市収益事業組合モーターボート競走事業会計予算

(内容) 別添のとおり

→ 全会一致で可決

第2号議案 令和3年度東京都三市収益事業組合収益配分金について

(内容) 稲城市・あきる野市・多摩市 各2,000万円

→ 全会一致で可決

第3号議案 専決処分の承認を求めることについて(東京都三市収益事業組合一般職の

職員の給与に関する条例の一部を改正する条例)

(内容) 期末手当の6月・12月支給割合を各々100分の5減額

→ 全会一致で承認

以上

第1号議案

令和4年度東京都三市収益事業組合モーターボート競走事業会計予算

(総則)

第1条 令和4年度東京都三市収益事業組合モーターボート競走事業会計の予算は、次に定めるところによる。

(業務の予定量)

第2条 業務の予定量は、次のとおりとする。

(1) 年間開催日数	64日
(2) 1日平均舟券売上金額	365,000千円
(3) 1日平均入場者数	2,100人
(4) 場間場外発売日数	360日

(収益的収入及び支出)

第3条 収益的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。

	収	入
第1款 モーターボート競走事業収益		24,049,121千円
第1項 営業収益		24,043,115千円
第2項 営業外収益		6,006千円
	支	出
第1款 モーターボート競走事業費用		24,036,535千円
第1項 営業費用		23,970,643千円
第2項 営業外費用		60,892千円
第4項 予備費		5,000千円

(資本的収入及び支出)

第4条 資本的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。

	収	入
第1款 資本的収入		0千円
	支	出
第1款 資本的支出		0千円

(一時借入金)

第5条 一時借入金の限度額は、400,000千円と定める。

(予定支出の各項の経費の金額の流用)

第6条 予定支出の各項の経費の金額を流用することができる場合は、次のとおりと定める。

(1) 営業費用及び営業外費用間の流用

## (別添)

(議会の議決を経なければ流用することのできない経費)

第7条 次に掲げる経費については、これらの経費の金額を、これらの経費のうち他の経費の金額に、若しくはそれ以外の経費の金額に流用し、又はこれらの以外の経費をこれらの経費の金額に流用する場合は、議会の議決を経なければならない。

(1) 職員給与費	54,746 千円
(2) 交際費	100 千円

令和4年2月7日

提出者 東京都三市収益事業組合管理者 高橋 勝 浩



## 東京たま広域資源循環組合議会報告

組合議会代表 岩崎 みなこ

■ 2022年2月22日(火)に第1回組合議会定例会が府中市東京自治会館にて開催されました。

◆議案 第1号 第2号 共に議会招集の時間的余裕がないことが明らかとして専決処分したことの承認を求めることについてでした。

第1号 東京たま広域資源循環組合職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の承認を求めることについて

第2号 東京たま広域資源循環組合会計年度任用職員の報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例の承認を求めることについて

いずれも、質疑、討論なく全議員一致で可決されました。

◆議案 第3号 2022年度 一般会計予算について

歳入、歳出予算総額は追加し歳入歳出それぞれ9,206,975,000円とするとの説明がされました。

議員より地域振興事業負担金の9億5千万円は日の出町の了解がなされているのかとの質議があり、2029年までは総額75億円、年度、年度の額の合意もなされているとの答弁がありました。

その後、挙手により、全議員で認定されました。

◆議案 第4号 2022年度東京たま広域資源循環組合負担金について

合計額、78億2千万円

多摩市は前年度比94万7千円減の3億454万円

負担金は人口と修繕費の設備分については、焼却灰の搬入量又乾燥灰と湿灰に分け算定しています。

質疑、討論なく、全議員にて承認されました。

■たま広域資源循環組合運営計画の説明がありました。

◆エコセメント化施設老朽化に伴い、現施設の更新による改修が行われるにあたり基金の積み立てのあり方について

前期（2025年まで）、後期（更新工事期間2026年、2027年含めそれ以降）に分ける。財政調整基金と最終処分場等施設整備基金の合計額で設定する。

① 財政調整基金として各年 20億円とし5ヵ年で100億円と別途各年10億円は重油価格の高騰対策を加算額

② 最終処分場等施設整備基金

前期 60億円（（エコ更新工事費の一般財源分34億円と埋め立せずにフレコンバッグに留め置くためのフレコンプラント整備費26億）

後期 未定

◆これらの各自治体の負担金について

前期においては、基金目標額が可能な場合2022年度の78億2千万円の水準を維持。困難な場合は増額を検討する。後期については、5年以内の資金不足が見込まれない場合現行維持、不足が見込まれる場合増額検討、余剰金等により必要額の大きな減少の場合減額を検討する。

■ 処分場にて、絶滅危惧2類に指定されている、トウキョウサンショウウオが幼生のまま冬を越す、「越冬幼生」が見つかり2月9日発表したそうです。担当者によると、ここ数年記録は無い。トウキョウサンショウウオは環境の汚染や変化に影響を受けやすいため、環境の変化を知る指標となるということです。

次回は、2022年10月28日の予定です。

以上、ご報告申し上げます。